

# 議員全員協議会会議録

平成29年12月5日

宮古市議会

## 平成29年12月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(12月5日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
議会議務局出席者	2
開 会	3
説明事項(1)	3
説明事項(2)	7
説明事項(3)	8
閉 会	8

# 宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時 平成29年12月5日(火曜日) 午前10時  
場 所 市役所6階 大ホール

○

## 事 件

### 〔説明事項〕

- (1) 宮古市復興交付金事業計画について
- (2) 政務活動費の領収書等の公開について
- (3) その他

出席議員（24名）

1番	今村正君	2番	小島直也君
3番	木村誠君	4番	佐々木清明君
5番	白石雅一君	6番	鳥居晋君
7番	中島清吾君	8番	伊藤清君
9番	熊坂伸子君	10番	西村昭二君
11番	佐々木重勝君	12番	須賀原千エ子君
13番	高橋秀正君	14番	橋本久夫君
16番	工藤小百合君	17番	坂本悦夫君
19番	佐々木勝君	20番	落合久三君
21番	竹花邦彦君	22番	畠山茂君
23番	坂下正明君	25番	藤原光昭君
27番	加藤俊郎君	28番	前川昌登君

欠席議員（4名）

15番	古舘章秀君	18番	長門孝則君
24番	松本尚美君	26番	田中尚君

---

議会事務局出席者

事務局長	野崎仁也	次長	佐々木純子
主査	高村学		

## 開 会

午前10時00分 開会

○議長（前川昌登君） おはようございます。ただいまから議員全員協議会を開会します。  
ただいままでの出席は23名でございます。会議は成立しております。

○

### 説明事項（1） 宮古市復興交付金事業計画について

○議長（前川昌登君） それでは、次第に従いまして会議を進めてまいります。

協議事項の1、宮古市復興交付金事業計画についてを、説明願います。

山崎企画部長。

○企画部長（山崎政典君） 皆さん、おはようございます。それでは復興交付金計画につきまして説明をさせていただきます。

第19回の復興交付金事業計画につきましては、29年10月11日に復興庁に申請をいたしまして、12月1日付けで採択をされました。本日はその内容について説明をさせていただきます。併せて6月23日付けで既に配分をされております復興交付金からの事業管理運用対応ということで承認をされました第18回申請の内容についても、説明をさせていただきたいと思っております。

第19回申請の対象は、継続事業3事業、20億7,659万8,000円が認められております。第18回申請の対象は、継続事業1事業でございます。2億1,600万円が認められております。申請事業の内容等詳細につきましては、復興推進課長の方から説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○議長（前川昌登君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） 皆さん、おはようございます。よろしく願いいたします。

説明の方、着座にてさせていただくことをお許しいただきたいと思っております。それでは本日は、復興交付金の事業計画についてのご報告、説明になります。宮古市には復興計画というものがございます。復興計画には宮古市は391事業ございます。そのうち復興交付金を頂戴して取り組んでいる事業が100事業あります。今お話しした後段の復興交付金事業という部分について、今年度国の方からお認めいただいた事業について。また、この12月議会。また、来年度の当初予算に計上させていただく内容についても含めてご説明いたしたいと思っております。

表紙をお開きいただきまして1ページをお願いします。上の表が第19回申請、金額につきましては事業費ベースですので交付金としていただく金額ではございません。この金額に補助率を乗じたものが交付金としていただくもの。または、基金として積み立てるものとなりますので、それについては後で説明させていただきます。今部長の方からお話があったとおり第19回申請は継続事業3つにつきまして、基幹事業ですけれども認められたものです。埋蔵文化財発掘調査事業、中心市街地津波復興拠点整備事業、鉾ヶ崎・光岸地区都市再生区画整理事業の3つの事業になります。

最初の埋蔵文化財発掘調査事業についてですけれども、これは平成24年度から取り組んでおります復興関連工事に関連して、発掘調査の必要が生じたところの必要経費でございます。今回認めていただいたのは、平成30年度の実施分となります。全体とすれば4,500万円ほどの事業費になるんですけれども、基金としていただいているものの不足が生じた部分、新たに605万1,000円相当の分の交付金をいただく予定です。内容については、30年度から31、32年度はですね、発掘作業はほぼ終わりましたので調査報告書をつくる作業がかなり残っておりますので、そちらをお認めいただいているものです。

次に2番目の中心市街地津波復興拠点事業。こちらについては、中心市街地拠点施設、宮古駅南側の新設工事中ですが、30年度を最終年度として今回申請し認められたのは、平成30年度分の工事費等になります。金額は事業費で14億5,854万7,000円相当となります。

3番目が、鉾ヶ崎・光岸地地区都市再生区画整理事業となります。こちらは平成29年度実施の追加分。あとは平成30年度の必要経費ということで認められました。内訳は29年度が1億9,800万円。30年度が4億4,400万円。総事業費ベースとなります。内容については、平成29年度分の追加経費は、地中埋設物の撤去費用となります。平成30年度経費については、区画整理事業に伴う業務管理費、UR委託分とか、作業員の宿舍費等の営繕費等を含めまして4億4,400万円となっております。第19回申請の合計で20億7千659万8,000円が事業費ベースで採択されました。

次に下の表になります。第18回申請、こちらも鉾ヶ崎・光岸地地区都市再生区画整理事業として1事業が採択されました。事業の内容とすれば地中埋設物の撤去費用、中支障物の撤去、硬岩掘削、あとは出崎へ抜ける既存陸開の撤去費用等ということで認められたものです。こちらについては、全額既に基金として頂戴している、配分済みの事業費から流用対応させていただいております。

次のページ、2ページをお開きください。A3番になります。復興交付金事業の全体、総括表ということで説明いたします。上の表の右側をご覧ください。

今回、19回申請ということになりますけれども、ちょっと話が戻りますが17回、18回のところをご覧くださいと、既配分額から流用のため配分なしということでございます。これは第16回申請で復興庁から既に実施、完了した事業等について残がある分については、新たに各省庁から配分されるのではなくて、既に市町村に配分されたものを流用して使っているということです。17回、18回申請は、それぞれ事業については事業については、採択されたものが多々ございますけれども、金額として、復興交付金として受け取ったものはなかったけれども、実行できている時期がこの時期になります。今回19回申請、12月1日で採択されましたけれども、事業費ベースで11億2,659万5,000円。交付金額で8億4,494万6,000円。この8億4,494万6,000円が12月補正で復興交付金基金積立金として計上させていただく金額となります。先ほど1ページでご案内しました20億云々という金額は全体の事業費ですけれども、事業によりましては既に配分を受けている事業費を流用させていただくことによって、必要な分の交付金額がこの8億4,494万6,000円となります。この11億2,659万5,000円と8億4,494万6,000円はちょうど補助率が75パーセントという事業体系でございましたので、単純に計算すると75パーセント相当にはなっております。

次に進みます。下の表をご覧くださいと思います。下の表の一番下の宮古市事業計(エ)のところでご説明したいと思います。18回、19回申請について、(A)のところは復興交付金事業計画全体の事業費になります。865億6,949万2,000円。(B)の宮古市合計。今回交付金としていただく相当の対象事業費が11億2,659万5,000円。先ほどの上の表の右側の方にある数字になります。そしてここの(B)の③の交付金額が8億4,496万円となります。上の方にちょっと戻ってまいりますと、国の省庁の名前が書いてございます。文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省ということで、今回文化財関係は文部科学省、中心市街地津波復興拠点及び鉾ヶ崎・光岸地地区の区画整理に関しては国土交通省事業ということで、こちらに数字が入ってございます。

(C)の宮古市合計欄を見ていただきます。こちらが上の右側の表で示してあります交付対象。交付が決まった総事業費になりますので、833億8,396万6,000円となります。そして③の交付金額になります。こちらが交付をうけるもの、665億9,168万9,000円となります。

次に(D)、右側に移っていただきます。これは本年10月末現在の交付金事業の執行状況ということで、執行済みの部分の総事業費を示しております。先ほど(C)で示した833億円に対して執行済事業費、④の一番下でございますけれども、644億8,473万5,000円が執行済みになります。⑤未執行事業費となります。この未執行事業費は今後執行予定の事業費となっております。事業採択を受けて執行予定の部分になります。159億6,196万円になります。次に⑥の下を見ていただきます。こちらは執行残見込となっております。29億163万2,000円。

そしてひとつ跳びます。(E)未交付事業費。こちらが31億5,006万6,000円となります。こちらの未交付事業費につきましては、今後申請をし平成32年までに執行をする予定の金額が、それぞれ省庁ごとに上の方から、例えば文部科学省ですと8,838万5,000円。これは先ほどお話しした事業の継続で文化財の発掘調査事業の部分になりますし、国土交通省事業、これについても後でご説明しますが、それぞれの部分で今後31年、32年で実施予定のものをここに積み上げた金額になります。

一番右の備考欄をご覧ください。冒頭お話ししたとおり復興交付金事業については100事業取り組んでおります。継続事業38、完了・廃止事業62となっております。こちらの表については、以上でご説明を終わります。

なお、3ページを開いていただいて、3ページ以降はその100事業の個別の事業についての事業名、事業概要、そして事業費の内容等について、一覧表にまとめたもので、これまでの各回、ご報告の際に添付したものでございます。今回採択いただいた分のみを抽出してご説明をさせていただきます。3ページの一番上、No.1こちらが埋葬文化財発掘調査事業となります。この事業を右に移っていただいて(B)をご覧ください。(B)が第18回、第19回申請相当になるんですけど、先ほど総事業費605万1,000円とお話ししました。こちらに補助交付率を掛けまして、75パーセントになりますので実際交付を受ける金額は③の額、453万8,000円になります。今回の交付を受けた結果、これまでの事業に取り組んだものを含めての交付対象事業費は(C)欄になります。(C)の①、2億260万6,000円。これが文化財発掘調査事業のこれまでの累積になります。そして(D)は10月末現在の執行状況でございますけれども、(E)まで跳んでいただきますと、こちらの未交付事業費が平成31、32年度に予定している同事業の交付申請見込額相当となります。今後精査のなかで若干動くかもしれませんが予定している事業になります。

次に2番目の中心市街地拠点施設整備についてですけども、4ページをお開きください。事業のNo.は上から26番になります。26番、事業名、事業概要が書いてございます。今回、既に配分されたものに不足する部分ということで(B)のところ11億2,054万4,000円の事業費相当の交付金を、③の交付金額、75パーセント相当になりますけれども8億4,040万8,000円。こちらの交付を受けようとするものです。合計金額が(C)の①になります。拠点施設整備事業については交付金を財源として事業費ベースとして35億7,675万3,000円。交付金ベースでその右の③になりますけれども26億8,256万4,000円の交付を受けるということになります。執行済金額は(D)の④に書いてございますけれども。次に事業間流用という項目を見ていただきます。こちらが最初にお話ししたとおり既に配分し事業が終了のものからお金を動かしていいですよということで、基金の中から取り崩し事業費に充てるもので、3億3,800万3,000円というふうな金額が事業費ベースで、交付額ベースですと2億5,350万2,000円動かそうとするものです。事業完了は30年度というふうになっております。こちらの中心市街地の復興拠点整備事業の流用元につきましては、3ページの戻っていただきます。3ページの下の方に国土交通省ということでナンバーが1から付してございますけれども。このなかの11番の事業、災害公営住宅整備事業(宮古北地区)。あとは14番の事業。同じく災害公営住宅整備事業(田老地区)。事業が完了しましたということで、こちらに事業費の残がございましたので、この2つの事業から先ほどの拠点施設の整備事業に流用しようとする

ものでございます。

それでは次に、3番目の鍬ヶ崎・光岸地地区都市再生区画整理事業についてですけれども、4ページにお進みいただきたいと思っております。No.37がこの該当事業になります。こちらは(B)のところには既配分額から流用のため配分なしとなっております。今回国の方からの配分を受けませんが既に受け取っている基金の方から使わせていただくという内容になります。事業費としましては(C)の①、82億7,393万6,000円の総事業費になります。今回既配分の事業間流用で利用する部分については、右側の方に8億2,800万円。交付金ベースで6億2,100万円というふうに記載がございます。こちらの流用元につきましては、同じく4ページの上の方に27番の事業の津軽石の拠点施設事業がございます。事業完了しておりますので、こちらから流用いたします。また、3ページに戻っていただきまして国土交通省事業のNo.9、災害公営住宅整備事業（宮古地区）。先ほどと同じですけど、こちらの宮古地区の災害公営住宅の事業と14番、同じく田老地区の災害公営住宅。こちらから流用させていただいて事業を執行しようとするものでございます。

だいぶ面倒な説明になってしまいましたけれども、今後12月補正及び30年度当初予算に計上して事業を進めてまいりたいと考えております。なお、20回申請につきましては4月に申請、2月に配分を受けるというようなスケジュールを想定しております。今後とも事業に動きがございましたらご報告申し上げたいと思います。以上で説明を終わりたいと思います。

○議長（前川昌登君） 説明が終了しました。この件について、何か質問があれば挙手願います。

橋本議員。

○14番（橋本久夫君） ちょっと関連質問になるかもしれませんが2つほど教えていただきたいんですけども。

最初の埋蔵文化財の発掘調査事業。これは報告書をつくる作業のようですけども、この報告書は市の事業のみなのか。県の事業としても発掘調査をやっているんですが、この事業に充てられるのはどちらの事業ですか。そこを教えてください。

○議長（前川昌登君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） ただいまの質問にお答えいたします。市の事業に関する調査、発掘したものについてのレポート、報告書の作成となります。

○議長（前川昌登君） 橋元議員。

○14番（橋本久夫君） はい、了解しました。それからもうひとつ。2点目、中心市街地の方なんですけれども。関連事業の関係で、先般ちょっと課長にも連絡したと思うんですが。あそこを今工事している関係上、様々な交通資料的な石碑とか資料とか諸々。あと構内に残っているいろんな鉄道関連に関する歴史資料なりがございますよね。今工事の関係でそれが撤去されている。将来的にそれをどういうふうに行っていくのか。それとも復興交付金事業で再整備して行くのか。それとも市として単独で新たな歴史資料をね、どういうふうに残していくのかという観点をちょっと教えてください。

○議長（前川昌登君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） お答えいたします。大変皆様にご報告をせずに申し訳ございませんでした。石碑に関しては、実は駅前にも3つございました。JRさんのもの。三鉄さんのもの。宮古市がロータリーさんから管理を預かっているものとありました。ご案内のとおりエントランスゲート、自由通路を造るために撤去せざるを得ませんでした。各所有者、管理者協議のうえ、一旦下水道浄化センター、松山の方に移設で保管させていただいております。別の場所で公表するのは立地的にあまり良くないのかなということで、一旦保管させていた

だいております。また併せてJRさんの方にも様々鉄道に関連する、記念になる、歴史を伝える、鉄道事業を伝えるようなものもあろうございます。そちらについても是非寄贈したいというお話もでございます。それらも併せてエントランスゲート、自由通路の駅北側の入口についても含めて3月までに竣工でございます。

ただ、今後またご説明いたしますけれども自由通路の内装工事も入ってまいります。駅前の三陸鉄道本社前の広場が落ち着きましたら、あの近辺でしっかりと石碑を戻し、きちっとしたかたちで市民の皆さんにご案内できるように、今計画をしております。そのレイアウトとか配置の具体については、所有者とか管理者の方々と協議をして、まとまった段階でご報告できるかと思っております。所要の経費については、また別途ご相談をしたいと思います。

○議長（前川昌登君） 橋元議員。

○14番（橋本久夫君） はい、了解しました。石碑についてはそんなイメージですね。あとあれ、どうしますか。動輪がありますよね。ああいうものも含めて、それも北側に持っていくのかってイメージなのか。その辺をちょっと教えてください。

○議長（前川昌登君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） お答えいたします。先ほどの説明の後段にあった寄贈をいただくという協議を受けているJRさんの動輪等についても含めて、やはり鉄道広場的なイメージの名称になるかわかりませんが、一緒に一連のものを置くことが皆さんにとっても何かしら伝えられる貴重なものになるのではないかという構想をしております。併せて考えて行きたいと思っております。

○議長（前川昌登君） はい。ほかに。

須賀原議員。

○12番（須賀原チエ子君） 3ページの国土交通省の1番の胡瓜沢線なんですけども。ちょっといろいろあって、3億円程予算が増えたってのを聞いたんですけども。それについては今後どういうふうになるのでしょうか。

○議長（前川昌登君） 岩間復興推進課長。

○復興推進課長（岩間 健君） 胡瓜沢線につきましても現場の方、復興交付金の年度内に終わるように建設課の方で、きちっと地権者とも交渉しながら進めております。事業費の増。まあ減はほとんどないんですが。増については都度都度、復興庁と協議をしております。やはり必要な経費については、タイミングよく交付をいただいて事業に滞りがないように進めて行くということで。詳細については建設課の方で交渉しておりますけれども。事業費の増というのはどの事業についても今後もあり得るのかなと思っております。

○議長（前川昌登君） ほかに質疑ございませんか。なければ、この件については終わります。

説明員は退席願います。

〔説明員退席〕

---

## 説明事項（2） 政務活動費の領収書等の公開について

○議長（前川昌登君） それでは説明事項の2、政務活動費の領収書等の公開についてを議題とします。

議会運営委員会の古舘委員長は欠席ですので、藤原副委員長より説明願います。

○25番（藤原光昭君） それでは今議長の方から話がございました議会運営委員会の古舘委員長が欠席でございますので、副委員長の方から説明をさせていただきます。

皆さんのお手元に配付されていると思うのですが、そのことについて議運で決定したことを報告いたします。

議会運営委員会を代表して説明しますが、資料として、岩手日報の記事と情報公開度ランキング調査結果2017を配付して皆さんの前におります。それをご覧いただきたいと思いますが。

市民オンブズマンいわてが発表している情報公開度ランキングにおいて、宮古市の順位は、県下34市町村中14位となっております。この中で、議会に関係する部分に色を付けております。皆さんのお手元にあります。宮古市で点数が0点となっている項目が4項目ありますが、その中で問10の議案をホームページで公開しているか。問12の本会議配布資料をホームページで公開しているか。問14の委員会配布資料をホームページで公開しているかの3項目は、順次ホームページで公開することとしております。問16の政務活動費の領収書をホームページで公開しているかについては、平成28年度までの分は議員全員の金額の一覧表を公開していますが、領収書は公開しておりませんでした。そこで議会運営委員会で協議をしました。平成29年度分、今年度分から領収書も公開することと決定しましたのでお知らせします。すべての領収書を公開しますので、政務活動費収支報告書提出の際は、糊付けなどしないで、事務局に提出をよろしく願いをしたいと、このように思っておりますので今後よろしく願いをいたします。以上、委員会の報告とします。

○議長（前川昌登君） 説明が終了しましたが、この件について何か質問があれば。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前川昌登君） 全て公開ということになっていくと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○

### 協議事項（3） その他

○議長（前川昌登君） その他ですが、皆さんから何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○

### 閉 会

○議長（前川昌登君） それでは、これをもって議員全員協議会を閉会します。  
ご苦労さまでした。

午前10時30分 閉会

○

宮古市議会議長 前川昌登